

地質ニュース

昭和 53 年 9 月

第 289 号

1978

解 説	12 年目をむかえた日本の地熱発電……………馬 場 健 三・1 正 井 義 郎
	笹原栄雄氏 勲四等に叙せられる……………資 料 室・7
	サンゴ礁と石灰岩(2)……………大 山 桂・8
	海峡形成史 VII ～動物分布を支配する海峡～ ……大 嶋 和 雄・14
	酸素と水素の同位体地質学 ③……………松 久 幸 敬・26
国際会議	第 7 回環太平洋深成作用研究集会報告 (その 4) エクスカーション～濃飛流紋岩および飛驒帯～ ……山 田 直 利・40 野 沢 保
海外事情	中近東フィールドノート② 学生達のルーツと教育……………高 橋 清・54
地学と切手	マヨン火山の切手……………P. Q.・25
	伊良部島 IRABUJIMA ……矢 崎 清 貫・64

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

葛 根 田 地 熱 発 電 所

岩手県雫石町葛根田川上流沿いの山間奥深いみどりの木々に包まれた地に 地熱利用ではわが国最大の 5 万 kW の発電所が 5 月 28 日営業運転を開始した。ここは十和田八幡平国立公園内にあり 開発と自然景観および環境保全との調和には特に配慮され 外からは全体が見えない様に作られているので撮影には苦勞した。きびしい条件下で発電所の設計及び建設にたずさわった関係者の苦勞が感じられる。オイルショック以来代替エネルギーのパイオニアとして 地熱発電所が全国数カ所に作れているが 特にこの地熱発電所の成功は 近い将来実現が期待される大規模深部地熱開発計画への自信を更に深めるものとなった。この発電所の誕生の意義はまさに大きい。地熱エネルギー開発促進の願いや切である。

(本文参照 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社